横浜市立上矢部小学校　学校だより　　令和５年6月30日

やまゆり

学校教育目標　**大地に根をはり　共に伸びよう　天までとどけ**

HP アドレス　www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamiyabe/

☆欠席連絡は、マチコミメール（朝 8:00 まで）か連絡帳、それ以降は電話でお願いします　☆朝学校に着くのは、8:10～8:20 までの間です
☆登下校は決められた通学路以外使いません　☆帰宅後の外出は5時までです　☆放課後の学校への電話連絡は 18時までにお願いします

さまざまな思いを巡（めぐ）らせる夏に！

校 長 鈴木 則男

梅雨明けが待ち遠しい候、蒸し暑い日が続いています。先日の土曜参観では多数ご来校いただきありがとうございました。6月27日、戸塚区26校の代表児童が集まり、「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」が戸塚公会堂にて開催されました。もちろん上矢部小学校からも校内スピーチコンテストを経て6年生の岩崎ゆめのさんが代表児童として出場し、立派に堂々とスピーチすることができました。

スピーチコンテストのテーマは「国際平和のために自分がやりたいこと」SDGsの17の視点に基づいて、現代の社会問題や、自身の経験や体験をもとに自分の考えをもつことから始め、6年生全員がこのテーマに取り組みました。既にご承知の通り、このSDGsとは、国連が決めた持続可能な世界にするために行う17の取組目標です。今年度は、豊かな海につながる環境問題や食品ロス、ジェンダー平等についての問いかけや、現在の国際情勢から貧困や差別のない平和な世の中にするための視点が多く語られていました。

どんな問題や課題を解決すればよいのか、そのためには何をするべきなのかをコンテストに参加した子どもたちは堂々と自分の思いを表現していました。その場に参加した私は、希望をもって未来へ進む子どもたちのたくましさ、頼もしさを強く感じました。

人生は自分にとって楽しいことばかりではありません。特段楽しくなかったり、いやだったりした経験でも、実は自分の成長にとっては必要だったと、後々わかることがあります。いつも気の合う友達といればよい、好きなことをしていればよいではなく、誰とでも接する日々の授業や日常があり、苦手なことや辛い場面の経験を経て少しずつ大きくなっていきます。小学校生活は、人とのかかわり合いの基礎となる時期、さまざまな経験を通して、人の気持ちを知り、知識を身に付け、見方や考え方を広げて欲しいと願っています。

7月21日からは夏休みです。SDGsの視点をご家族で見つめることもよいかと思います。「私たちはこんなことができる、こんな世の中になるとよい」と思いを巡らせる夏、思い出いっぱいの夏休みにして欲しいと願っています。

プールの準備が整い、水泳学習が始まりました。

もうすぐ本格的な夏がやってきます。